



JP HOLDINGS GROUP

JP News & Topics

株式会社JPホールディングス

2018 May

- CONTENTS -

1. JPホールディングスグループ 平成30年度入社式を開催
2. 日本保育サービスに女性社長が誕生
3. 2018年3月期 通期実績は増収増益
4. 子育て支援施設19施設を4月1日より新規開設および運営開始
5. 民間学童クラブAELが学習教室「ガウディア」のフランチャイズに加盟
6. アルペンスキー新井真季子選手が「にいがた妙高はね馬国体」で準優勝
7. 第12回キッズアスレチックスフェスティバル開催
8. パラ卓球 鈴木伸幸選手が第38回ジャパンオープンパラ卓球選手権で3位入賞
9. テレビ朝日系列「有吉探検隊！」に当社グループの社員寮が登場しました

1. JPホールディングスグループ 平成30年度入社式を開催



2018年3月30日、平成30年度JPホールディングスグループ入社式が執り行われ、過去最多のグループ総勢414名（うち保育士276名）の新入社員が入社しました。

（株）JPホールディングス 荻田代表取締役社長からの期待を込めた訓示の後、新入社員からも力強い決意表明がありました。先輩従業員からの歓迎の気持ちを込めた余興もあり、緊張の面持ちだった新入社員からも笑顔があふれる入社式となりました。最後に4月1日より

（株）日本保育サービスの代表取締役社長に就任した片柳からのメッセージを受け、「こどもたちの笑顔のために ... 」という決意を新たにしました。

当社グループはこれからも、新しい仲間とともに、未来を担うこどもたちのために質の高い保育サービスを提供していきます。

2. 日本保育サービスに女性社長が誕生

(株) JP ホールディングス傘下で、保育園の運営を手掛ける(株) 日本保育サービスにおいて、取締役および保育事業部長であった片柳 千代子（かたやなぎ ちよこ）が2018年4月1日付けで、代表取締役社長に就任いたしました。

新社長となった片柳は公立保育園および当グループ運営施設において40年以上に亘って保育士として勤務し園長を歴任、自治体の保育担当も務めた実績があります。保育現場を熟知した片柳が社長に就任したことで、現場と本部とのコミュニケーションがより円滑になり、より質の高い保育サービスの提供につながるものと考えております。

【新代表取締役社長 片柳 千代子 就任のご挨拶】

こどもたちの健やかな成長には、「地域の中で愛されて育つ」ことが大切です。それを担うことができるのが保育園であり、学童クラブ、児童館です。私たちの責務は、地域の皆様に見守っていただける環境を作り、保護者の皆様には心から寄り添うことで、こどもたちが本来持つ「自ら伸びる力」を社会全体ではぐくむ核となることだと考えております。

当社には、経営理念である「こどもたちの笑顔のために…」を、従業員一人ひとりが常に自らに問いかけ、実践する風土・文化があります。これからも一層、従業員が自らの仕事に真摯に向き合えるよう、女性をはじめとした多様な人材が活躍できる職場環境づくりにも尽力してまいります。

グループ会社を含めた全従業員の総力を結集してこどもたちの健やかな育ちを担い、皆様から信頼され必要とされる企業となるよう邁進する所存です。引き続き、変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



【片柳 千代子（かたやなぎ ちよこ） 略歴】

公立保育園で40年に亘って保育士として勤務し園長を歴任。定年退職後、平成25年4月に(株) 日本保育サービスへ入社。同社で運営する保育園の園長を経て、平成28年4月に同社運営1部部長（現 保育事業部）、平成29年6月に同社取締役兼保育事業部部長に就任、各施設を統括・支援する保育事業部の責任者として保育園の運営・管理を担う。

2018年4月1日より同社代表取締役社長に就任。

3. 2018年3月期 通期実績は増収増益

2018年5月9日、2018年3月期の通期決算発表を行いました。
 売上高においては、主に新規施設の開設及び既存施設の増収等により増収となりました。
 営業利益においては、人件費の増加の他、期初に見込んでいなかった費用（消費税の課税区分の見直しに伴う控除対象外消費税額の増加120百万円、2回の臨時株主総会関連費用148百万円等）の増加がありましたが、売上高の増加がこれを吸収し増益となりました。
 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益においても、寮利用者の増加に伴う補助金等により営業外収益が増加したこと、各施設の収益性改善計画等により園減損損失（特別損失）が大幅に減少したことなどを受け、増益となりました。

(連結)	2018年3月期 実績	前年同期比	業績予想比
売上高	26,779百万円	+17.5%	+2.5%
営業利益	1,303百万円	+11.5%	+12.6%
経常利益	1,528百万円	+17.1%	+13.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	910百万円	+37.6%	+17.2%

4. 子育て支援施設19施設を4月1日より新規開設および運営開始

JPホールディングス傘下で子育て支援施設の運営を手掛ける（株）日本保育サービスおよび（株）アメニティライフは、保育園15施設、学童クラブ4施設の計19施設を2018年4月1日より新規開設・運営開始いたしました。

それにより、2018年4月1日における当社グループが運営する保育園の数は198園、学童クラブは72施設、児童館は11施設、民間学童クラブは5施設、幼稚園（海外施設）は1園となり、子育て支援施設の合計は287施設となりました。

当社グループは、今後も待機児童の解消に向け、保育士確保とともに新規施設の開設を推進してまいります。



【アスク東葛西保育園 外観】



【アスクとねり保育園 内観】

5. 民間学童クラブA E Lが学習教室「ガウディア」のフランチャイズに加盟

民間学童クラブA E L（アエル）の運営を手掛けるJPホールディングス傘下の（株）日本保育総合研究所は、日能研関東と河合塾グループが作った学習教室「ガウディア」を展開している株式会社ガウディアとフランチャイズ契約を締結しました。2018年4月1日よりA E L横浜ビジネスパークとA E L湯島にて、ガウディアの教材を使用した学習教室を開講いたしました。

A E Lでは、『自分で考える』『どのように考えたのか説明できる』『最後まであきらめないで考える』という目標を掲げております。ガウディアの学習教室運営が同一空間での異学年、異教科での学習を実現していることが、AELの目標にこめられている自学自習の方針に適していると考え、フランチャイズに加盟をしました。

小学1年生～3年生までにガウディアの国語と算数の教材を使用することで、低学年の間に自分から勉強する習慣を身につけるとともに高学年に向けての基礎力、応用力を養い、中学受験の勉強にもスライドできる素地を育てます。

民間学童クラブA E Lでは、ガウディアのフランチャイズに加盟することで、地域の小学生たちの学習の拠点となることを目指してまいります。

6. アルペンスキー新井真季子選手が「にいがた妙高はね馬国体」で準優勝

（株）日本保育サービス所属アルペンスキーヤーの新井真季子選手が、2018年2月26日に新潟県妙高市で行われた第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会「にいがた妙高はね馬国体」の大回転・成年女子Aにて、準優勝しました。

新井選手は2017年1月にレース中の転倒により3度目の左膝前十字靭帯断裂の大怪我を負いながらも厳しいリハビリで競技に復帰。回復は順調で、2018年4月14日に行われたシーズン最終戦「2018 FIS秋田八幡平スラローム大会」女子の部で優勝しました。今後の大会での活躍が期待されます。



7. 第12回キッズアスレチックスフェスティバル開催

（株）日本保育サービス所属のアテネ五輪 陸上女子七種競技日本代表・中田有紀選手が企画プロデュースから講師まで手掛けている第12回キッズアスレチックスフェスティバルが2018年3月3日、愛知県ウェーブスタジアム刈谷にて開催され、200人以上のこどもたちが参加しました。

今回も世界で戦う陸上選手たちが講師として参加し、「走る・跳ぶ・投げる」の基本動作や上達するコツをこどもたちに伝授しました。



8. パラ卓球 鈴木伸幸選手が第38回ジャパンオープンパラ卓球選手権で3位入賞



2018年3月17日に大阪府箕面市スカイアリーナで開催された第38回ジャパンオープンパラ選手権にて、(株)日本保育サービス所属でパラ卓球世界ランキング15位の鈴木伸幸選手が3位に入りました。

2018年シーズンの初戦は5月に開催されるスロバキアオープン。今年10月には、2018パラ卓球世界選手権に出場する予定です。世界での活躍を目指して良いスタートダッシュを切れるよう、練習に励んでいます。

9. テレビ朝日系列「有吉探検隊！」に当社グループの社員寮が登場しました

2018年3月21日 23:40~24:40放送のテレビ朝日「有吉探検隊！」に当社グループの女子保育士寮が登場しました。有吉隊長率いる探検隊が女子寮に潜入取材、地図を頼りに謎を解き明かしました。